

2022年12月16日

各位

日本ゼオンとアイデミー、マテリアルズ・インフォマティクス領域での本格的な協業を開始
—より強固な連携に向け、資本提携契約を締結—

日本ゼオン株式会社
株式会社アイデミー

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 田中公章、以下「日本ゼオン」と)と株式会社アイデミー(本社:東京都千代田区、代表取締役執行役員 社長 CEO 石川聡彦、以下「アイデミー」と)は、このたび資本提携契約を締結しました。本提携を受けて両社は、日本ゼオンにおけるデータ活用人材の育成および、日本ゼオンが保有する材料開発や研究に関する実験データを活用したマテリアルズ・インフォマティクス^{※1}(以下、MI)領域での本格的な協業を開始します。両社は、日本ゼオンが保有する材料開発と研究に関する知見や実験データと、アイデミーの強みである教育研修から事業定義・試作品開発・実運用まで一貫通貫で提供するDX推進ソリューションを掛け合わせ、日本ゼオンでの活用に留まらず素材から最終製品に至るサプライチェーン全体における効率的で持続可能な製造・開発の実現に取り組み、産業構造の改革を目指します。



日本ゼオンは、1950年の創業以来、合成ゴムをはじめとするエラストマー素材事業や、高機能樹脂や光学フィルム、電子材料やリチウムイオン二次電池材料といった高機能素材事業において、独創的な技術力をもとに素材の製造・開発を行う化学メーカーであり、2021年度よりスタートした中期経営計画においても、全社的なDXの推進やMIの活用に注力しています。

アイデミーは、2014年の設立以降「先端技術を、経済実装する。」をミッションに掲げ、デジタル人材の育成を軸とした「デジタル変革伴走型支援事業」を展開しており、DX/GX人材を育成し外的環境の変化に対応できる強い組織作りを支援する「Aidemy Business(アイデミー ビジネス)」、組織開発・人材育成・課題選定・PoC・開発・運用を一貫してサポートする顧客伴走型支援サービス「Modeloy(モデロイ)」を、法人を対象に提供しています。

日本ゼオンは、2020年9月よりアイデミーからサービスの提供を受けながら、データ活用人材の育成や実験データの構造化などの課題に取り組んできました。今回の協業では、日本ゼオンが保有する材料開発や研究に関する実験データをもとに、データを構造化するためのデータベースやアプリケーション等の管理システムや蓄積したデータを活用します。そして、原材料や配合割合から素材加工メーカーでの製造結果を予測するMIの基礎モデルの開発を共同で進める体制の構築を目指します。

日本ゼオンとアイデミーは、日本ゼオンが目指す「独創的な技術・製品・サービスの提供を通じ、『持続可能な地球』と『安心して快適な人々の暮らし』に貢献する」というビジョンの実現に向け、必要となるDX推進における協業を進めてまいります。なお、この協業においてシナジーを発揮するためには、より強固な連携関係を構築していくことが重要であると判断し、アイデミーの発行済み株式の一部を日本ゼオンが取得し、資本提携契約を締結しました。

▼ MI 領域における協業内容

「データを一元管理するためのデータ活用基盤の構築」、「素材加工メーカーでの開発効率を高めるための MI 基礎モデル開発と改善によるデータ活用の価値証明」、「DX 推進に不可欠なデータ活用人材の全社的な育成」の3つの柱で、取り組みを推進します。

MI領域における協業内容



※1 マテリアルズ・インフォマティクス (MI) :ビッグデータ、AI などのデジタル技術の活用により、材料の製造方法を予測するなど、材料開発の効率化を図る取り組み。

【株式会社アイデミー 概要】

「先端技術を、経済実装する。」を企業理念とする、2014 年創業のベンチャー企業です。現在では法人向けを中心にサービスを展開しており、企業の AI/DX プロジェクト、GX プロジェクトの内製化に向け、DX/GX 研修から事業定義・試作品開発・実運用まで一気通貫で支援しており、事業を通じて「先端技術が社会実装されるまでの壁」を取り除くべく尽力しています。

社名 : 株式会社アイデミー
 所在地 : 東京都千代田区神田小川町一丁目1番地 山甚ビル 3F
 代表者 : 代表取締役執行役 社長 CEO 石川聡彦
 設立 : 2014 年 6 月
 URL : <https://aidemy.co.jp/>

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話:03-3216-2747